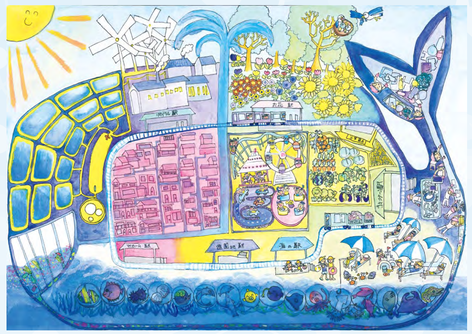
第15回 未来の街を描こう!! 絵画コンクール

テーマ「わたしが住みたい未来の街」

応募総数 6,463点

主催 大阪広域生コンクリート協同組合　産経新聞社　後援 大阪府　大阪府教育委員会　大阪市　大阪市教育委員会

未来の街最優秀賞



楽しく海のゴミを
おそうじ出来る街

永井　秀弥 さん（3年生）

全ては巡り巡ってモノが循環され、
世界は清らかに続いてゆく…。
理想の世界を、細かいところまでよく考えて
きちんと描き切っている。エリアごとに色を
分けているものも効果的。素晴らしい作品。

コメント
マンガ家
里中 満智子

未就学児部門最優秀賞

みどりがまんなか

大城　玲雄 さん（5才）

真ん中にどっしりと立っている力強い木は、人間や
生き物の安らぎの場所。まわりの建物の配置や配色
がよく工夫されている。何よりも、丁寧に根気強く
描いている努力が伝わってくる。

コメント
マンガ家
里中 満智子

Golden Palette賞
ゴールデンパレット

緑のまちと海と空
矢野　翔悟 さん（5年生）

まわる未来都市
西岡　唯斗 さん（4年生）

色んな形の惑星
浮舟　壱太 さん（2年生）

MOON　CITY
藤原　摩悠菜 さん（4年生）

花火のみえるお城の街
東　奈々 さん（1年生）

アニメの中のような未来の街
加藤　愛萌 さん（5年生）

団体賞

堺市立東深井小学校
大阪市立三国小学校
神戸市立神戸祇園小学校

未就学児部門 団体賞

アトリエぴーまん
はばたき保育園
絵画造形教室 アトリエ ブルームーズ

未来の街を描こう!!絵画コンクールとは…

わたしたちの街はさまざまな人々の「夢」「創造」「想い」を経て発展を遂げました。街のさらなる発展を願い
これからの時代を担う子どもたちが未来の街を「夢」「創造」「想い」など自由な発想で考え発表のできる
機会を創出するために大阪広域生コンクリート協同組合、産経新聞社の共催で行う絵画コンクールです。
今回の応募総数は、6,463点。2021年10月5日（火）大阪広域生コンクリート協同組合の会議室にて
午前10時から午後4時まで審査会が行われ、厳正な審査の結果各賞を決定しました。

審査会当日のスナップ：審査中の審査員

Silver Palette賞
シルバーパレット

うちゅうへレッツゴー!!
にじのまち
笹田　奈乃絆 さん（2年生）

みどりいっぱい、人もいっぱい、
ロボットもいっぱい楽しい未来!!
辻　駿成 さん（3年生）

移動手段はハチさんにのります。
お花（向日葵）いっぱいの街!!
柿葉　日向花 さん（4年生）

ミラクル☆カラフル☆にゃんダフル☆
ようこそ虹の橋へ!!
福地　結衣 さん（5年生）

いろいろなあじのポップ
コーンがずっとたべれるまち
山元　彩葉 さん（1年生）

どの未来になる?
大西　羽名 さん（6年生）

審査員特別賞

愛でみたされた街と
ひとりぼっちの天使ちゃん
北　颯夏 さん（6年生）

陸無き未来
駒井　竣光 さん（5年生）

世界中だれでも入れる
子どものデパート
林　みずほ さん（3年生）

すべてはひとつ
向井　ひなた さん（4年生）

ちきゅうのみんながニコニコで
くらせるeco-friendlyなまち
大倉　結愛 さん（1年生）

木の街
堀本　果歩 さん（2年生）

産経新聞社賞

多様性を認め合う世界
櫻井　優羽 さん（6年生）

陸・海・空　自由にすめる未来
島田　翔光 さん（4年生）

大阪広域生コンクリート協同組合賞

タイム　トラベル
西谷　寧桃 さん（3年生）

大阪府知事賞

おいしいおおさか
岡　夏生 さん（1年生）

龍（りゅう）の大阪
佐藤　慶弥 さん（4年生）

大阪市長賞

未来の街は海の中
田辺　瑛人 さん（4年生）

動物・ロボット・人間が
仲よくおしゃべりできる未来
～たこやきの味は、
かわらない大阪の町～
小松　萄叶 さん（4年生）

[受賞作品紹介特設サイト]
各審査員のコメント動画もご覧いただけます。
http://miraicon.jp
※詳しくは、「未来の街」特設サイトへ

大阪広域生コンクリート協同組合は
SDGs（持続可能な開発目標）を推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

荻原 靖史
産経新聞 大阪本社 編集委員

選考会場では里中先生、阿部先生、スタッフの皆さんと部屋いっぱいの作品を1点1点、時には顔をひっつけて絵と向き合いました。「これ、どうやって描いたんでしょう」「タイトルは何かな」中には「うーん」とうならせる理解不可能な問題作も現れます。「これが楽しい。そう、期待を上回る楽しい力作を前に、みんな自然と笑顔になるのです。入賞作には空へ、海へ、宇宙へ、もちろん地上で、色彩がほとばしる笑顔のまぶしい未来が並びました。コロナ以後の地球を、若い世代がこんな風に実現してくれることに期待して。年齢を重ねるとみんな現実的になります。でも描く世界に限界はありません。広がる想像力をずっとこのまま持ち続けてください。

※敬称略

木村 貴洋
大阪広域生コンクリート協同組合
理事長

今回受賞されました園児・小学生の皆さん、誠におめでとうございます。
今年も昨年と同様にコンクールのテーマは「わたしが住みたい未来の街」とさせていただきました。
今年も昨年に引き続き、新型コロナウィルス感染の影響は残っておりましたが、昨年と同様にコンクールの開催を決定いたしましたところ、昨年よりさらに2,000点ほど多い6,500点近い過去最高の応募作品が届き、スタッフ一同大変喜んでおります。
応募者の皆さんには、私たちの期待以上の素晴らしい未来の街の絵を沢山描いていただきました。今年の絵の特徴としては、未来は人類が宇宙に飛び出して生活していることを想像している絵が多かったと感じております。また、どういう訳か、絵の中に虹を描いている人が大変多いと感じました。
このコンクールは、今年で第15回目の開催となりますが、応募作品のレベルが年々向上していることを喜ばしく感じております。
今後も社会貢献活動の一環として、児童絵画コンクールを続けてまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

阿部 寿文
キッズグループ 近畿関西 代表

入賞された作品は、どれも作品の前で審査員の足をとめるなたたちの想像力に満ちていました。自然や動物、多様な人たちと共に生きること。共感する力、持続可能な未来。未来はあなたたちに任せて大丈夫！そう思わせるに十分なメッセージがあります。
カメやジンベイザメ、クジラや龍と共に生きる。宇宙とつながる未来。みんなが笑顔になれること。いろいろな人たちが手を繋ぐ未来。なかには、おやっ？なにかな？未来から私たちを見つめているかのような天使の絵もありました。
今生きている街を大切にしながらも、未来はあなたたちが作っていくんだ。これらの絵は私たち大人たちへのメッセージでもある。そして毎年、多様化していると実感しました。

審査員講評

里中 満智子
マンガ家

「未来の街はこうなっていたらいいな」という夢がいっぱいで、見ていて心がはずみます。夢というものは、本気で目指せば実現可能なものがほとんどなのです。人類は大昔から「こんなふうになったらいいな」と願うことを実現しようと頑張ってきました。
「食料がとれなくなるとお腹が空く」→「食料改良して作物がたくさんとれるようにする」「病気になると悲しい」→「病気を治す力のある植物から薬を作る」こうして科学や医学が発展してきたのです。
将来、夢の街を実現する人は、あなたかも知れません。世界中みんなのために、素敵な未来の街を作りましょう。